

未来のまちに向けた方向性

まちやひとの魅力

神戸はいつまでもまちの“誇り”を育み、次代に紡いでいきます

⑦誇りを育むまち

世界を臨む海や空からひとが集い新たな価値の創造に挑戦し続けるまちへ
まちの歩みとテクノロジーの融合によりグローバルに貢献するまちへ

⑥世界に発信・貢献するまち

誰もがひとに寄り添い、助け合いながら、それぞれの夢を実現できるまちへ
豊かな自然とひとの営みが織りなすゆとりある暮らしができるまちへ

⑤豊かな生活ができるまち

これまで神戸には多くのものが受け継がれてきました
これからも神戸は世代や立場を超えた繋がりの中で未来に向けて進んでいきます

④“今”から“未来”へ

神戸は、人間らしい
“あたたかみのあるまち”です
幾度となく困難を乗り越えた絆
多様性を認める明るい気風
いつでも神戸はすべてのひとをやさしく受け入れます

③“今”の“ひと”の魅力

神戸は、“多彩な表情を見せるまち”です
都会と里山の共存
洗練されたまち並みと下町の活気
まちに溶け込む坂道も、毎日違う風景を見せてくれます

②“今”の“まち”の魅力

神戸は、海と山に囲まれた美しい“みなとまち”です
開港以来、海外との交流を重ね、文化や流行を日本に生みだしてきました

①自然や歴史

第1・2回審議会ですいただいた主な意見

項目	内容
「多様性」の解釈	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性の持つ意味が変わってきている。「認める」は外国人をイメージしたものかと思うが、今では家族の在り方や働き方等も含まれているので、多様性が『ある』や『あふれる』はどうか。 ・また、「受け入れる」は上から目線に感じるので、『包み込む』といった色々な解釈が出来る表現にすべき。 ・「明るい」が余計。その対義語の「暗い」も多様性の1つ。代わりに『開かれた』でもいいかもしれない。
「ゆとり」に変わる表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゆとり」は“ゆとり世代”にあるようにあまり良くないイメージ。 ・また、生活に余裕がない人にとってはしんどい表現。
「新たな価値の創造」部分の表現	<ul style="list-style-type: none"> ・今は、医療産業都市で実現した新技術の果実を、市民にフィードバックしていく段階。価値の創造に「挑戦する」ではなく、『実現する』というように力強く示すべき。
「産業」の観点の追記	<ul style="list-style-type: none"> ・今の神戸には、過去に勢いのあった政策、産業力が失われていると感じている。生活の豊かさや多様性をなす根幹は産業であり、産業育成の観点は非常に重要。 ・「産業を育てる」の表現は受け身に感じる。主体的に『産業が育つ』はどうか。
片仮名表現の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジー等の片仮名表記は、使いやすい一方で、抽象的な表現になりがち。また、将来陳腐化する可能性もある。 ・「グローバル」には、欧米中心の過度な資本主義の推進により、様々な地域が疲弊したイメージもある。 ・「グローバル」は、一般的には世界に目をむく言葉。『国内外に貢献』や『地球規模での貢献』といった表現はどうか。 ・『国際社会や地域社会に貢献』といった、地元のコミュニティも大事にする表現はどうか。
「貢献」部分の記載位置	<ul style="list-style-type: none"> ・「貢献」のイメージが分からない。社会で活躍することなのか、世界に羽ばたくことを意味するのか。 ・産業パートにある「グローバル貢献」とは、産業が地域性や小さなコミュニティは重視せず、世界に羽ばたくイメージ。震災での支援に対する恩を返す意味も含まれているならば、ひとの繋がりを示す4段落目で「貢献」を表現した方が良い。
ダブルクォーテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・多用すると強調の意図がずれる。
スローガン	<ul style="list-style-type: none"> ・PR用に子ども達でも分かるoneメッセージが必要。神戸をひと言で表すのは難しいので、抽象度を上げた表現でも良い。 ・策定後の基本構想を読んでもらって、PR用のスローガンを考えてもらう公募を行うのはどうか。

未来のまちに向けた方向性

まちやひとの魅力

神戸は、海と山に囲まれた
美しいみなとまちです
開港以来、海外との交流を重ね
文化や流行を日本に生みだしてきました

①自然や歴史

神戸は、多彩な表情を見せるまちです
都会と里山の共存
洗練されたまち並みと下町の活気
まちに溶け込む坂道も
毎日違う風景を見せてくれます

②“今”の“まち”
の魅力

神戸は、人間らしい
あたたかみのあるまちです
幾度となく困難を乗り越えた絆
多様性があふれる開かれた気風
いつでも神戸は
すべてのひとをやさしく包み込みます

③“今”の“ひと”
の魅力

これまで神戸には多くのものが
受け継がれてきました
これからも神戸は
世代や立場を超えた繋がりの中で
広く内外に貢献し
未来に向けて進んでいきます

④内外への貢献と
ともに“未来”へ

培ってきた技術と知の集積により
時代を彩る産業とひとが育つまちへ
世界を臨む海や空からひとが集い
新たな価値の創造を実現するまちへ

⑤新たな価値等を
創造するまち

誰もがひとに寄り添い、助け合いながら
それぞれの夢に挑戦できるまちへ
豊かな自然とひとの営みが織りなす
一人ひとりが幸せを感じられるまちへ

⑥誰もが幸せを
感じられるまち

神戸は、いつまでもまちの誇りを育み
次代に紡いでいきます

⑦誇りを
育むまち

パブリックコメント結果

実施時期	令和6年6月21日（金）～令和6年7月21日（日）
意見数	<p>19件（11名）</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 文言の修正にかかるもの 9件・ 意見収集の手法にかかるもの 4件・ 未来への承継にかかるもの 2件・ 具体的な施策にかかるもの 4件

意見内容と本市の回答案（文言の修正にかかるもの①）

	意見内容	回答案
1	<p>全体的にぼやけており、何が言いたいか分からない。</p> <p>京都市の基本構想は、哲学者が取りまとめており、読み応えがあって心に響く内容である。神戸市も、市内在住の作曲家など、神戸に所縁のある有識者の協力を得て、ブラッシュアップして欲しい。</p>	<p>特定の有識者に依頼する手法もあるが、本市では有識者25名による審議会に基本構想案を諮問し、それぞれの専門的な見地を踏まえた修正を重ねている。</p> <p>今後も有識者の意見を踏まえて改善していきたい。</p>
2	<p>6段落目後半の「豊かな自然とひとの営みが織りなす 一人ひとりが幸せを感じられるまちへ」は繋がりが悪い。「豊かな自然と人の営みが織りなす」ものは何か。次の3案を提案したい。</p> <p>①豊かな自然とひとの営みが織りなす 幸せを感じられるまちへ ②豊かな自然とひとの営みが織りなす 幸せを一人ひとりが感じられるまちへ ③幸せを一人ひとりが感じられる 豊かな自然とひとの営みが織りなすまちへ</p>	<p>6段落目では、神戸が、豊かな暮らしを実現できるまちとしてありたいという思いを表現。</p> <p>ご指摘の「豊かな自然と人の営みが織りなす」と「一人ひとりの幸せを感じられる」の2つの文章は、いずれも「まち」を説明。本市がまちづくりで重要な観点と考える「一人ひとりの幸せを感じられるまち」を強調するため、現在の構成とした。</p>
3	<p>神戸には街の個性を失ってもらいたくない。個性を育むと、市民等はまちに誇りを持ち、まちの発展等への応援にも繋がる。</p> <p>現在、多くの街で、経済発展を重視したことで、似たり寄ったりの街並みが形成されている。今後、基本計画等を策定する中で「神戸の個性が育まれる計画になっているか」と立ち返れるよう、7段落目に「個性」の要素を追加し、「いつまでもまちの個性と誇りを育み」として欲しい。</p>	<p>神戸が独自の文化等と発展してきた経緯を踏まえると、「個性」の視点は非常に重要。</p> <p>基本構想案は、前半で『先人から紡いできた神戸ならではの「まちやひとの魅力」』、後半で『これらを活かしながら目指していく「未来のまちにむけた方向性」』を表現。</p> <p>第7段落目の「誇り」には、市民等の神戸への愛着のほか、「先人たちが築きあげてきたまちの魅力（＝個性）」も含まれている。</p>

意見内容と本市の回答案（文言の修正にかかるもの②）

	意見内容	回答案
4-1	<p>第1段落の「文化や流行を日本に生みだしてきました」を「長く市民に愛される文化や流行を育んできました」に修正。</p> <p>神戸が文化を「生み出した」というのは語弊で、市民文化の起点として海外交流があったとするのが正確。</p>	<p>神戸は海外からの文化や流行等を取り込み、市民に広げてきた功績もあるが、その一方で海外文化を独自にアレンジし、新しい文化や流行として生み出した歴史もある。</p>
4-2	<p>第2段落の「まちに溶け込む坂道も」を「まちに溶け込む坂道も（改行）海と空を吹き抜ける風も」に修正。</p> <p>この段落に「海」に関する描写がないことはおかしい。</p>	<p>基本構想案は、出来る限り同一単語が重複しない構成で作成。</p> <p>「海」は第1段落で既に使用。</p>
4-3	<p>第3段落の「幾度となく困難を乗り越えた絆」を「命と暮らしを奪った災害の中でも支え合う人々」に修正。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神淡路大震災等の自然災害を直接的に書くことで、街の歴史に与えた意味合いを残すべき。 ・「絆」があるから災害時に助け合ったのではなく、自身と同じ理不尽な境遇に置かれた人を見捨てるが出来なかつただけではないか。ここで使うならせめて「つながり」では。 ・困難を「乗り越えた」というのはまだ時期尚早。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この「困難」には、自然災害のほか戦争や感染症等も包含。 ・「絆」の表現は、日常生活の人々の結びつきが、大規模災害時の地域の救助活動に活かされ、更に強固になることを表している。 ・「乗り越えた」の表現は、現在、大多数の方が平穏な生活を取り戻していると思われる。
4-4	<p>第4段落の「すべてのひとをやさしく包み込みます」を「この街に関わるひとをやさしく包み込みます」に修正。</p> <p>「すべてのひと」が神戸市民を指すのか、神戸に直接間接に関わる人を指すのか、全人類を指すのか、明確にすべき。</p>	<p>「すべてのひと」とは、神戸のまちに関わるすべてのひとを指している。</p>

意見内容と本市の回答案（文言の修正にかかるもの③）

	意見内容	回答案
4-5	<p>第5段落の「世代や立場を超えた繋がりの中で 広く内外に貢献し」を「考え方やあり方を超えて繋がり 広く国内外に貢献し」に修正。</p> <p>世代や立場という内政的な視点ではなく、思想信条や立場、人種や言語を含むコスモポリタンな言い方に変えるべき。そうであるならば、後段は必然的に「国内外」とすべき。</p>	<p>思想信条や立場、宗教や経済階層、人種や言語といったコスモポリタンの視点を、『世代や立場を超えて』で表現している。</p> <p>また、貢献の対象については、神戸市の近隣都市等との繋がりも考慮したうえで「内外」と表現している。</p>
4-6	<p>第6段落の「培ってきた技術と知の集積により」を「培ってきた技術と知と文化の集積により」に修正。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済発展の段落には、生活産業、娯楽産業、文化・芸術産業、スポーツ産業の視座は必要。また、経済発展の目的が、より豊かな文化的な暮らしの実現であることも忘れてはならない。 ・ そうすると、「培ってきた...」「時代を...」の2行の間に、「文化が香る心豊かな暮らしをつくり」といった行が必要では。 	<p>第5段落は、産業等の発展に関する部分で、まちの力強さを表現。ご認識のとおり、経済発展の目的は文化的な暮らしの実現であると考えており、第6段落で個々の暮らしの豊かさを表現している。</p> <p>なお、基本構想案は、出来る限り同一単語が重複しない構成で作成。「文化」は、既に第1段落で使用し、第4段落でそれを受け継ぐ表現としている。</p>

意見内容と本市の回答案（意見収集の手法にかかもの①）

	意見内容	回答案
1-1	<p>基本構想案の作成にあたり、市民へアンケートを実施したとのことだが、ネットモニターをはじめに現在神戸市で行っているアンケート等の調査は、対象の母集団の特性（年齢性別等の人口比率）が反映されておらず、標本としての信頼性が皆無。 全アンケートをやり直し、信頼できる標本を抽出したうえで、再度構想を検討して欲しい。</p>	<p>対象を特定せず、多くの神戸に関わる方々による参画を得るため、ホームページやSNS、広報紙等により広く発信しながら、アンケートやワークショップ等を通じて、「神戸のまちやひとの魅力」などの意見を収集した。</p> <p>【参考】令和5年度の皆さんの参画状況等 https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/kihonkeikaku.html</p>
1-2	<p>基本構想案の内容が空疎で抽象的。共感も反感も抱けず、神戸市が何をしたいのか伝わらないため、ただただ戸惑いを覚える。 「なぜ今、神戸市で総合基本計画が必要なのか？」を明確にして、市民に喧伝すべきではないか。</p> <p><補足> 基本構想案は、ミクロとマクロ、手段と目的が混在している。これは担当部署がロジックツリーを作っていない、もしくはロジックツリーを作ったものの「原因分析」「問題解決」が混在し未完成なため。担当部署は今一度ロジックツリーを作成し、公開して欲しい。</p>	<p>新たな「基本構想」は、まちの基本理念として、激化する都市間競争等の中で、先人から引き継ぎ将来に紡いでいくべきまちの魅力や未来に向けた方向性を、市民等の皆さまからいただいた意見をもとに、端的なメッセージとして整理したもの。 具体的なまちづくりの将来像や施策については、下位計画となる今後10年間の将来ビジョンとなる「基本計画」や、5年ごとの具体的なアクションプランとなる「実施計画」の中で検討していく。</p> <p>なお、「今、総合基本計画を策定する理由」は次のとおり。今後、しっかりと周知してまいりたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合基本計画が、神戸市議会基本条例の議決事項や報告事項に定められており、いずれの計画も2025年に終期を迎えるため ・激化する都市間競争や社会変容の中、進化する神戸のまちの将来像や方向性を示し、他都市との差別化や、シビックプライドの醸成、シティプロモーションに繋げていくため

意見内容と本市の回答案（意見収集の手法にかかもの②）

	意見内容	回答案
2-1	<p>第1弾アンケートで「あなたの『神戸といえば〇〇やんなあ』を教えてください！（選択式）」という設問があるが、これは誘導的な設問で、回答者が「大事に思っていること」等を示す内容ではない。</p> <p>また、基本構想案に反映する要素として、自由記述の意見が重要であるが、「主な意見集」では、市が自らの施策や思惑のために「市民等からの意見」を歪めてまとめているのが散見。例えば、『神戸の「まち」や「ひと」の魅力』では、ワードクラウドで「神戸愛」や「坂」等の記載がないにも関わらず意見集で取り上げられている。</p> <p>このように、基本構想案は、「市の都合や思惑で市民等の意見が歪められたもの」と言え、疑義が生じたまま進めることはできない。再考が必要。</p>	<p>第1弾アンケートでは、市で設定した神戸の魅力に関する25項目の評価を通じ、まちのイメージを膨らませた後、自由記述で『神戸の自慢できること』等を回答。25項目の評価と自由記述の回答傾向は概ね一致しており、自由記述の集約結果を中心に基本構想案を検討。</p> <p>基本構想案は、アンケートの他、ワークショップや有識者による現行の基本構想から引き継ぐべき要素等の意見を取りまとめ、有識者25名からなる神戸市総合基本計画審議会にて修正を重ねたもの。使用する単語は、幅広いイメージができ、柔らかい印象のものを選定し、ワードクラウドとは別の言葉に置き換えたものもある（例：震災⇒困難、旧居留地や異国情緒⇒洗練されたまち並み など）</p> <p>以上のように、皆さまの意見をもとに基本構想案を検討。</p>
2-2	<p>ホームページに「神戸のまちやひとの魅力」等の記載があり、基本構想の策定は「市民の神戸に対するロイヤリティ」や「都市ブランド」を調べたうえで進めるものと思っていたが、アンケートやワークショップの結果も学問的に活かさず、「大学都市」と標榜を掲げているにも関わらず、極めて古臭い市政が露わになっている。</p> <p>また、基本構想策定に向け、市の現状や過去の施策の課題等を明らかにせず、反映させてもいない（解決方針も示していない）。大学の協力を得ながら、「市民の神戸に対するロイヤリティ」や「都市ブランド」の現状・課題等を明らかにした上で、解決する施策として基本構想を作り直すべき。</p>	<p>本市では、総合基本計画の策定において、市民参画がシビックプライド醸成の絶好の機会と捉え、様々な参画機会の創出等を実施。</p> <p>基本構想案は、昨年度のアンケート等で収集した約25,000人（ほか小中学生約35,000人）の意見をもとに取りまとめ、有識者で構成する総合基本計画審議会にて修正を重ねたもの。</p> <p>策定後は、市民等への周知のほか、神戸のまちの魅力等を対外的に示すシティプロモーションにも活用していきたい。</p> <p>なお、本市では、実施計画の推進の取り組みとして、毎年有識者による神戸2025ビジョン推進会議を開催。基本構想案は、当会議で出た現行の基本構想から引き継ぐべき要素等も踏まえて作成。</p>

意見内容と本市の回答案（未来への承継に関わるもの）

	意見内容	回答案
1	<p>景色を想像でき、わかりやすい構想案に感じる。</p> <p>こどもまんなか社会や働き方改革、SDGsやゼロカーボンなど、世の中の潮流の変化とともに、神戸の雰囲気も移り変わることと思うが、その中でも言葉だけでは伝承できない神戸のこれまでの歩みなどは、目に見える形で残って欲しい。</p> <p>例えば、ポートタワーを含む港の雰囲気、震災の名残や復興イベント、祭りや商店街などの活気など。</p> <p>新世代が古きを訪ね新しきを知るきっかけとなるよう、神戸で生まれ育った世代がいつでも懐かしさに包まれ安心できる故郷になることを願う。</p>	<p>これまでに、先人たちが築き上げてきた神戸のまちの歴史や風景等を守り、新たな時代の変化に柔軟に適応しながら、市民等の皆さまにいつまでもまちを誇っていただけるよう、これからもまちづくりを進めていく。</p>
2	<p>神戸は、世界的な港町で、イタリアやドイツに居る知人に「KOBEに住めていいね」と言われるのが私の誇り。50年、100年経ってもクリーンな神戸市政であって欲しい。</p>	

意見内容と本市の回答案（具体的な施策に関わるもの）

	意見内容	回答案
1	<p>少子化による人口減少に伴い、市内の就労人口も減少する中、外国人労働者が神戸のまちで働き、生活が根付くように、以下の支援が出来ないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人と同様の給与水準や福利厚生の充実 ・日本人の高齢者（ボランティア）が、外国人との面接を通じてマッチングし、半年以上生活をサポート 	
2	<p>新神戸駅周辺は、海外から多くの人々が降り立つ神戸の顔であるにも関わらず閑散。テナントの空きが目立ち食事処もない。AIシアターは、土日も開いておらず、いつ営業しているのか分からない。</p> <p>三宮の混雑を避ける方向けに、隠れ家的カフェや子供が走り回れる芝生スペース、子供用トイレなど、ハード面の整備等ができないか。</p>	<p>この度の次期総合基本計画の策定に伴い、本市では、新たな「基本構想」を、まちの基本理念として激化する都市間競争や社会変容の中で、先人から引き継ぎ将来に紡いでいくべきまちの魅力や未来に向けた方向性を端的なメッセージとして整理。</p>
3	<p>神戸は、外国人を歓迎する街として、そして外国人と日本人がチームとして友好的な関係を築く街として知られるべき。以下の内容について、改善して欲しい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日本人と外国人が交流する際に、外国人が日本語を話そうとするのと同じように、日本人も世界共通語である英語を話すか、通訳を利用 ②市から外国人への郵送物は、英語と日本語を併記。 ③市内の飲食店で、宗教上の理由等で食事に制限がある人向けのメニュー提供 ④外国人を対象とした、神戸の物流に関するオリエンテーション（日本人と外国人の団体で共催）を半年に一度開催 	<p>具体的なまちづくりの将来像や施策については、基本構想の下位計画であり、今後10年間の将来ビジョンとなる「基本計画」や、5年ごとの具体的なアクションプランとなる「実施計画」の中で検討していきたい。</p>
4	<p>郊外住宅団地では、バス等の公共交通の運行回数減少によって住民生活に大きな支障が生じている。基本構想の中に、早急に取り組むべき課題として郊外住宅団地の交通問題の解決を明記して欲しい。</p>	